ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 32

1 基本項目

事務事業名	公共交通対策事業			担当部署 課等名	都市計画課
予算事業名	公共交通対策事業			係名	まちづくり交通係（地域交通係）
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1380
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度 昭和40年代	終了年度	当面継続	款	総務費
総合計画 目標名	目標３．輝くまち			項	総務管理費
総合計画 政策名	政策13．快適で住みやすいまちづくり			目	交通対策費
総合計画 施策名	施策35．総合交通体系の整備			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業35－１．公共交通の利便性向上			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	地域における公共交通（バス・鉄道等）の活性化を図るとともに、あいの風とやま鉄道線及び富山地方鉄道線の在り方を検討することにより、将来における調和のとれた交通体系を築き、市民の方が暮らしやすく、また、本市に来訪される方にとって満足度が高まるまちづくりの実現を目指すため、行政・交通事業者・市民が一体となって、各種施策の推進を図る。
対象	魚津市民や魚津市を訪れる方々
手段（活動指標）	「魚津市地域公共交通計画」に基づき、市民団体の代表や関係機関などの意見を聴き、利用者・非利用者アンケートの機会を設けるほか、公共交通機関や市民ぐるみの活動を支援する。
意図（成果指標）	市民および来訪者等全ての人が利用しやい効果的・効率的かつ持続可能な公共交通体系（市民バス・地鉄バス・並行在来線・地鉄本線等の在り方）が築かれる。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 魚津市公共交通活性化会議開催数	回	5	6	6	6	100.0%	6
活動	② 在来線等対策連絡協議会補助金	円	0	0	0	0		0
成果	① 魚津市民バス利用者	人	162,050	174,923	175,000	172,662	98.7%	175,000
成果	② 地鉄バス乗車数（１日平均）	人	0	0	0	0		0

4 コスト情報

	区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計 （A）	円	8,376,111	14,607,936	7,294,891	7,089,371	0	-51.5%	6,466,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0				
事業費 財源内訳	②県支出金	円	1,866,000	1,302,000	1,305,000	1,445,000		11.0%	1,150,000
事業費 財源内訳	③地方債	円	0	0	0				
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	433,024	441,300	180,000	479,400		8.6%	150,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	6,077,087	12,864,636	5,809,891	5,164,971		-59.9%	5,166,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	－	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間	2,800	1,500	1,500	1,500	－	0.0%	800
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	11,491,200	6,156,000	6,156,000	6,156,000	－	0.0%	3,283,200
総費用（A＋B）		円	19,867,311	20,763,936	13,450,891	13,245,371	0	-36.2%	9,749,200

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

◇黒部宇奈月温泉駅と市内を結ぶ、予約式あいのりタクシーの運行
◇魚津駅舎内の利活用スペース「ミラマルシェ」の維持管理
◇室堂直行便「アルペンライナー」の魚津ＩＣ停車への対応

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	A	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針			
○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

高齢化社会の進展や生活環境の変化などにより、公共交通機関に対する市民や来訪者のニーズの高まりと求められる内容も変化することが予想される。こうした中、公共交通の果す役割はますます大きく、公共交通の利便性確保や利用促進策の充実など公共交通施策の推進のためにも事業の継続は必要である。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 33

1 基本項目

事務事業名	魚津市民バス運行事業			担当部署 課等名	都市計画課
予算事業名	公共交通対策事業			係名	まちづくり交通係（地域交通係）
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1380
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度 平成18年度	終了年度	当面継続	款	総務費
総合計画 目標名	目標３．輝くまち			項	総務管理費
総合計画 政策名	政策13．快適で住みやすいまちづくり			目	交通対策費
総合計画 施策名	施策35．総合交通体系の整備			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業35－２．市民バスの利便性向上			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、市民の福祉を増進するとともに、魚津市に来訪される方々の利便性を確保し、地域の活性化を図ることを目的として、魚津市民バスを運行している。 ◇路線 市街地巡回ルート（東・西回り）、郊外ルート（８ルート）、◇運賃 全ルート共通 1人1乗車200円（小・中学生、高校生100円、未就学児無料）〔回数券13枚綴り2,000円（小・中学生、高校生回数券13枚綴り1,000円）・1日乗車券500円（小・中学生、高校生300円）あり〕※PayPay支払可（1乗車あたりの運賃は回数券利用時と同額）
対象	魚津市民や魚津市を訪れる方々
手段（活動指標）	運行及び安全運行に必要な運行管理を行うとともに、利便性向上などの利用促進策、持続的な運行を行うための運行体制の在り方に関する協議を行う。
意図（成果指標）	高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいが創出する。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図る。

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 市民バス運行委託料（市街地巡回ルート）	円	21,700,003	21,221,552	23,265,000	23,265,000	100.0%	25,000,000
活動	② 市民バス運行委託料（郊外6ルート）	円	68,512,659	88,327,183	93,238,072	81,389,687	87.3%	81,398,970
成果	① 魚津市民バス利用者	人	162,050	174,923	175,000	172,662	98.7%	175,000
成果	② 市民バス運賃収入（全ルート）	円	21,068,765	23,100,424	26,314,000	24,470,046	93.0%	26,314,000

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計 （A）	円	103,292,783	126,824,262	147,931,153	131,436,200	342,000	3.6%	145,197,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	15,554,000	22,720,000	12,925,000	25,271,000		11.2%	14,339,000
事業費 財源内訳	②県支出金	円	14,954,000	19,510,000	15,498,000	21,836,000		11.9%	17,168,000
事業費 財源内訳	③地方債	円	0	0	0				
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	23,037,555	0	51,814,000	24,898,046			68,500,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	49,747,228	84,594,262	67,694,153	59,431,154	342,000	-29.7%	45,190,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	－	0.0%	4
人件費	②年間所要時間	時間	2,800	1,200	1,200	2,000	－	66.7%	2,000
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	11,491,200	4,924,800	4,924,800	8,208,000	－	66.7%	8,208,000
総費用（A＋B）		円	114,783,983	131,749,062	152,855,953	139,644,200	342,000	6.0%	153,405,000

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

◇バスロケーションシステムの安定稼働に向けた取り組み及びバス運行ディスプレイシステムの運用安定化への取り組み
◇市民バスを利用した利用促進イベント「親子でおでかけ事業」の実施
◇老朽化した片貝・西布施ルート車両の更新・小型化と、バスに関するポスターの優秀作品の車体へのラッピング
◇「魚津市民バス等利用促進協議会」を起点にした、市内全域での市民バス利用促進に向けた取り組み、地域・企業要望等の調整
◇個々の利用者の状況に応じたマイ時刻表の作成
◇市民バス運賃支払いの「PayPay」対応
◇市民バス・オンデマンド交通乗り方教室の開催
◇企画政策課と連携したオンデマンド交通「チョイソコうおづ」の実証実験の拡大（下中島・上中島・松倉・上野方・本江）

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
妥当性	A	A	② 目的の妥当性	1 妥当である
妥当性	A	A	③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	3 低い・未実施
有効性	B	B	② 類似事業の有無	1 なし
有効性	B	B	③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
効率性	B	B	② 実施主体の適正化	1 適正である
効率性	B	B	③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

社会状況の急激な変化による利用者の減少や人口減少に加え、運転手不足が全国的に問題となっている。各地区の「魚津市民バス等利用促進協議会」や交通事業者等と連携しながら、安全運行管理体制の構築と利用促進への取組みや運転手の確保を続け、持続可能なバス運行ができるよう方策を講じていく必要がある。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 39

1 基本項目

事務事業名	魚津市交通DX（オンデマンド交通）実用化実証運行事業	担当部署	課等名	都市計画課	
予算事業名	交通DX（オンデマンド交通）実用化事業		係名	まちづくり交通係（地域交通係）	
新規・継続区分	新規事業		電話番号	0765-23-1380	
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計	
事業期間	開始年度 令和6年度 終了年度 当面継続		款	土木費	
総合計画 目標名	目標３．輝くまち		項	都市計画費	
総合計画 政策名	政策13．快適で住みやすいまちづくり		目	公共交通対策費	
総合計画 施策名	施策35．総合交通体系の整備	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）	
総合計画 基本事業名	基本事業35－２．市民バスの利便性向上	総合戦略との関連		関連なし	
根拠法令		集中プランとの関連		関連なし	
ＤＸ導入状況	導入済	評価対象年度の重点事業		非該当	

2 事業概要

事業概要	市民バスの利用者減や運転手不足という課題を解消するため、日中の利用者の少ない市民バス一部ルートの運行を予約式乗合交通（通称：チョイソコうおづ）に切り替え、実証運行を行うもの。実施地区の住民は事前予約のうえ、自宅↔目的地、目的地↔目的地を乗合で移動する。実施地区以外の住民も目的地↔目的地の移動で利用可能。 【実施地区】中島、松倉、上野方、本江地区 【実施ルート】中島、松倉、坪野、上野方ルート 【運行開始】令和７年11月１日（土） ※移行期間の11月は市民バスも併走 【運行日】月～土曜日 9:00～16:00 ※日祝日及び12/31～1/3運休
対象	魚津市民や通勤・通学で魚津市を訪れる方々
手段（活動指標）	システムの構築・提供・運用等の必要な支援を受けながらAI、IoT等の最新技術を活用した配車システムによるオンデマンド交通の実証運行を実施する。
意図（成果指標）	需要に応じた効率性の高い運行を行うことで、利用者増・運転手不足への対応・高齢者の外出機会の創出を図る。また、市民バスを含めた公共交通全体の利便性向上と持続可能な運行体系の構築を図る。

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 交通DX（オンデマンド交通）実用化実証運行事業支援委託料	円	－	－	18,827,435	22,251,966	118.2%	6,310,150
活動 ② AIオンデマンド交通実証運行委託料	円	－	－	9,056,000	10,968,705	121.1%	21,448,100
成果 ① 利用者	人	－	93	5,950	4,009	67.4%	14,750
成果 ② 運賃収入（現金収入＋回数券販売）	円	－	8,000	2,715,000	1,829,500	67.4%	6,730,000

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計 （A）	円		24,694,182	39,583,000	33,348,271		35.0%	27,807,750
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円		24,093,802	25,184,000	21,189,100		-12.1%	1,837,000
事業費 財源内訳	②県支出金	円							612,000
事業費 財源内訳	③地方債	円							
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円		8,000	450,000	1,829,500		22768.8%	19,105,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円		592,380	13,949,000	10,329,671		1643.8%	6,253,750
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人		2	2	2	－	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間		1,200	1,200	1,200	－	0.0%	1,700
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円		4,924,800	4,924,800	4,924,800	－	0.0%	6,976,800
総費用（A＋B）		円		29,618,982	44,507,800	38,273,071		29.2%	34,784,550

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

◇未来戦略室と都市計画課が連携したオンデマンド交通「チョイソコうおづ」の実証実験の実施
◇地域住民説明会や職員が市民バスに乗り込んで説明を行う等、利用者への丁寧な説明を実施
◇自宅前まで車両が乗り入れられるか現地確認を実施
◇運行事業者とともにコールセンター研修への参加

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性		A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性		A	① 目標達成度	1 高い
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性		A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

利用者減や運転手不足といった課題を、市民バスと運行事業と一体となって考えていく必要がある。